

# 設楽ダムの建設中止を求める会

<http://no-dam.net/index.html>

第36号 2014年8月25日

**ダムを造ってはいけない  
設楽ダム建設予定地の地盤**

～強行は、建設費用の膨張と

流域住民に大きな災厄をもたらす～

市野和夫(設楽ダムの建設中止を求める会 代表)

設楽ダムの計画予定地(中流案)の選定理由は、平成5年度の報告書(注1)に明示されているとおり、「① 治水・利水容量を確保できる地点としての地形的条件を備えていること」および、「② 過去に電源開発(株)によって調査された資料があること」の2点である。2点の理由のうち、後者の電源開発(株)がこの地点に着目したのは、ダムを造るのに適した地形条件であったと考えられることから、結局、**地形条件のみによってダム位置が選ばれた**と言える。平成4年度の報告書(注2)にまとめられているように、この選定位置では松戸地区の二重山稜地形が問題となるので、それぞれ上流と下流に数百メートル位置をずらした上流案と、下流案についても比較のため検討がなされたが、二重山稜問題をすっきり解決しないまま、地すべり地塊を避けるため、元の中流案を若干上流側に移動させて基本計画とし、建設を進める段階にきている。結局、微調整はなされたものの、**事業者は初めからここに立地を決めていた**のである。しかも、この間に、当初の7~8000万m<sup>3</sup>から1億m<sup>3</sup>へと、ダムの規模を拡大している。

この立地決定の経過に大きな問題がある。

川の流れを堰き止め、水を溜める**ダム建設のためには、巨大な重量構造物としてのダム堤体を支える地盤の強固さと、大きな水圧がかかるダム湖底や周辺地山からの水漏れを生じさせない地盤の水密性とが、ともに求められる。**この二つの必要条件が満たされることが**ダム立地の前提となるのに、それらを確認する前に場所を決めて建設段階に進んだことを認めてよい**だろうか。事業者は、どんな場所であってもダムを建設できるという技術過信の姿勢にあり、結果として地域住民の人命や財産に危険を及ぼしたり、建設費用を大きく膨らませる結果をもたらすことになる。

設楽ダム予定地周辺は、活断層がない地域と言われている。しかしながら、この地域は過去に中央構造線の激しい左ずれ断層活動の影響を受け、また、陥没によって形成された設楽盆地の北西の端に当たる地域であり、海進と堆積、その後の設楽火山活動に伴うマグマの貫入、熱水変性作用、陥没に伴うカルデラ形成、加えてプレートの動きの変化に伴う地盤の隆起や圧縮など、さまざま地殻運動の影響を受けている。地盤は様々な方向から力を受け、断層活動によりいわばグチャグチャに破碎され、熱水の変性作用も受けている。

このまま建設へと突き進めば建設費用の膨張と流域住民に大きな災厄をもたらすことは必至である。

注1: 「平成5年度設楽ダム地質検討業務委託報告書」、平成6年3月、建設省中部地方建設局設楽ダム調査事務所、4頁。

注2: 「平成4年度設楽ダム地質調査検討業務委託報告書」、平成5年7月、アイドルエンジニアリング(株)、80頁。

## 「設楽ダムの建設中止を求める報告と学習会」 地盤問題第2弾を開催します

テーマ: やっぱりダムを造ってはいけない

設楽ダム建設予定地の地盤について

と き: 9月14日(日) 13:30~16:00

と ころ: カリオンビル 4階 無料

会員の皆様へ:

ぜひご出席ください。

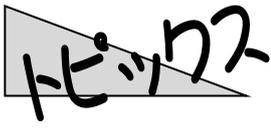
案内チラシを2枚

同封しました。

お知り合いに配布ください。

広報をお願いします。





国交省は田口高校裏の山(ダムができるとダム湖の堤防になる)は基盤である片麻岩できていると言いつけている。土の部分はその片麻岩が風化したもので、またその風化してできた土が崩れて表面を覆っていると言っているが、私は違うと主張している。

田口の平部と同じで、第三紀層、すなわち設楽海に積もった堆積層であると・・・。

実はこれは大きな問題で、基盤であれば岩盤だから、亀裂は多少あるにせよ石の塊。

第三紀層なら土の層で、ダム湖ができれば、水がどんどん浸透する。また基盤との境目(不整合面)がずっと地下深くにあることになり、ダム湖の水は、どんどん田口地区に浸透してくることになる。

今日(8月13日)、私は国交省が基盤だと主張する場所で、私の主張を裏付ける貝の化石を見つけたのだ。片麻岩が風化した土ではなく、第三紀層の堆積層であることが確実に became。貝の化石はたくさん見つかったが、そのうちの 하나가写真のもの。巻貝である。



ついでながらその場所の道下に泥岩の層を見つけた。この泥岩の層は第三紀層の中でも、上部の存在する層。不整合面はかなり深部にあると思われた。

設楽ダム建設予定地の地盤については、これまでの国の検証は不十分であることが明らかとなった。住民の生活安全確保のためには国は現地地盤の再検証は行わねばならないだろう。(伊奈紘)



### 立ち木トラスト山の手入れを行います。

開催日：9月28日(日) 午前10:00集合～2時間くらい

集合場所：奥三河総合センター駐車場に10時集合

(〒441-2301 北設楽郡設楽町田口向木屋2-10 0536-62-0100)

立ち木トラスト

立ち木トラスト運動を始めて4年が過ぎました。現在11箇所の立木山に3千数百人の立木オーナーが参加しています。

ところで、立木にシュロ縄で取り付けてオーナーの立木所有権を明示する木製プレートが4年を経過し、文字が消えかける、縄が切れて落ちる、スギ板が腐るなど、劣化が進んでいます。

- ・立木山を示す看板が台風などで倒れることがあった。・台風で立木が倒れたものが出ている。
- ・林が混んできて、間伐が必要となっている。など手入れが必要になっております。

立ち木トラストが今後の設楽ダム建設事業を中止する重要な運動の一つになり、今後の運動についてはみなさまと話し合う機会を作る予定でいます。決まり次第ご連絡します。

#### 【当日の服装などについて】

- ・長袖、長ズボンでスニーカーなど歩きやすい履物で参加してください。道具、軍手等は当会で用意します。
- ・昼食は当会で用意します。(お握り弁当です。)
- ・参加したいが交通手段がない、というかたは事務局奥宮へお電話ください。手配します。
- ・雨天の場合は中止します。
- ・申し込みの必要ありません。



## 「豊川流域自然学校」復活を記念して「講演と食事会」を開きました。

(2014, 8月15日)

豊川流域の豊かな自然を保全し、次世代に継承していくことを目的として「豊川流域自然学校」は5年ほど前に20代の若者が中心となって設立されました。しかしその方々が社会人となり、転勤したりで機能不全に陥っていましたが、この度柴田健司さんが代表となって息を吹き返しました。今年には設楽里山保全プロジェクトを立ち上げ愛知県事業である「人と自然

の共生国際フォーラム」に参加しました。今後は「設楽ダム建設中止を求める会」とは別個の市民団体として活動していきますが、「三河湾に注ぎ込む唯一の清流豊川の勉強会と保全活動」を行っていきます。復活を記念してみなと塾を主宰している加藤正敏さん(写真)から豊川河口前芝の「昔と今」について語っていただきました。

・加藤 正敏さんについて／豊川河口の豊橋市前芝町在住。地元前芝に根付いた住民活動を長年続けられています。前芝地区は、江戸から明治期にかけて「前芝湊」と呼ばれ、物流拠点として栄えた歴史があります。三河湾岸は明治以降、刈養殖が盛んでした。このような貴重な歴史を後世に伝えようと活動されています。



今回は大変な資料とデータをもとに話していただきました。興味深い話が満載でしたが、特に関心を持ったのはハマグリの話でした。どこで採れるかは教えていただけなかったです。

### 加藤さんの講演より

#### ハマグリ復活か？ “祭り騒ぎ” 謎のハマグリ大発生

前芝の前浜である西浜は、昔は、ハマグリはたくさん採れ、また海水浴、潮干狩りでにぎわう広大な、きれいな砂浜であった。ひと夏に10万人の海水浴客がいた。また豊橋、新城の小学校の遠足の場所であった。漁業補償がなされ、西浜の大部分が埋立てられ、また、流域下水処理場豊川浄化センターが出来たりして、知らぬうちにハマグリは消えてしまった。ここ30～40年ハマグリは絶滅し、前芝ではハマグリはいないものと思われていた。平成25年2月にアサリが絶滅してからは、浜へ来る人はいなかった。

ところが今年7月になって土日になると浜を訪れる人がいることに気づき、何が採れるのかと尋ねると「ハマグリです」と。見るとバケツにどっさり。これを村の人に話したところお祭り騒ぎになっている。ただ残念なことに、貝の柄は昔のようだが、色が黒くて商品にはならない。九州大学で調べてもらったところ「少数個体からの増殖の可能性がある(人為的移入も含めて)。近隣地域の集団とそれほど離れていないので、あまり遠くから運ばれているわけではないであろう。この場所を保全していただいて、今後もさらに多くの個体で遺伝子解析を行いたい」ということであった。これからも山と海をつなぐ豊川流域の自然を守るために協力関係を築いていきたい。

### ○「人と自然との共生国際フォーラム」参加事業の第3回皮むき間伐実践教室を行いました。



(7月12日)面白いほど長く皮むきできました(写真左)。実践終了後は、2年前に皮むきした木を担ぐなどして、どのくらい軽くなったかを体験しました。今回会場となった場所は、皮むき間伐などの練習の場として今後も豊川流域自然学校では利用していく予定です。敷地内を小さな谷川が流れているので、マイクロ水力の展示利用も可能ですし、今後地域再生活動の拠点～自然エネルギーやエコトイレ(自然浄化法)などのモデルハウスや「自然と共生する体験の場」としての利用など活用できれば、とオーナーの方から提案していただいております。

今回のプロジェクト全3回の様子は動画にまとめて10月4日、パルティ瀬戸アリーナに行われる活動発表会と10月25日地球市民交流センターで行われるフォーラムで公開します。

## イベント案内

- ・8月30日 (土) 午前9:30~正午 豊橋市民会館リハーサル室 会費:500円  
宮沢・レーン事件と秘密保護法 についてDVD 上映会と講演会  
※当会は「秘密保護法廃止を求める東三河の会」の賛同団体です。チラシを同封しました。



9月2日(火)~30日  
カリオンビル1階ロビーにて  
「設楽の自然写真展」を開催します。  
主催:設楽ダムの建設中止を求める会

※みなさまの中で展示していただける  
設楽の自然の写真がありましたら事務局  
へお持ちくださるかご連絡ください。  
開催中でも入れ替えたりしますので構  
いません。

- ・9月14日(日)  
設楽ダムの建設中止を求める報告  
と学習会  
「やっぱりダムを造ってはいけない  
設楽ダム建設予定地の地盤について」
- ・9月28日(日)  
立ち木トラスト山手入れ
- ・10月26日(日)  
第6回設楽を歩く「碁盤石山を歩く」を開催  
詳しくは同封のチラシを参照ください。

長良川・伊勢湾・COP12 9/5~7アクション  
【市民シンポジウム】

生物多様性 COP10 から 4 年

COP12(2014@韓国平昌)に向け愛知ターゲット達成を地域  
から考える

2014年9月7日(日) 13:30~16:30  
名古屋学院大学 日比谷学舎 301号教室

講演1「愛知ターゲット20の約束」  
道家哲平(ICUN日本委員会事務局)

講演2「韓国4大河川事業と生物多様性」  
イ・ハンジン

(4大河川復元対策委員会状況室長/ヨジュ市会議員)  
シンポジウム

「愛知ターゲット達成を地域から考える」  
コーディネーター:高山進(三重大学教授)

地域からの報告:長良川(武藤 仁)

藤前干潟(亀井浩次)

表浜(田中雄二)

豊川(市野和夫)

リニア新幹線(服部 隆)

他

コメンテーター:道家 哲平

イ・ハンジン

パク・チャンゲン

### ▼導水路裁判、名古屋地裁が不当判決 (導水路はいらない!愛知の会の声明を同封しました。)

徳山ダム導水路公金支出差し止め訴訟は7月24日名古屋地裁において棄却の判決が言渡されました。  
この判決に対してはマスコミの疑問を示す論調が多い。中日新聞(7月25日付)「水余り」残る疑問と題  
して被告の愛知県などは今回の判決を事業推進の“お墨付き”とすべきではない。水余りの疑問に明確に答  
える責務がある」と書いている。今度は政治が変える番だ、とも書いている。原告らは直ちに控訴しました。  
私たちは彼ら原告を支援してムダな事業が行われないように協力して行こうではありませんか。



設楽ダムの建設中止を求める会: <http://no-dam.net/>

代表 市野和夫 ichinok7@mx3.tees.ne.jp

郵便振替の口座番号:00870-1-134146 加入者名:設楽ダムの建設中止を求める会

他銀行からの振込みは、ゆうちょ銀行【店番 089(ゼロハチキュウ店)当座 0134146】

設楽ダムの中止を求める会の年会費は2000円です。

事務局 奥宮芳子 〒440-0069 豊橋市御園町1-3 0532-54-7305 [okumiya@xj.commufta.jp](mailto:okumiya@xj.commufta.jp)

